

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 30 年 1 月 23 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ  
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ニチハマテックス習志野工場における高効率ガスボイラー導入による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJKC0594
排出削減事業者名	ニチハマテックス株式会社
排出削減共同実施事業者名	ニチハ株式会社
事業実施場所	ニチハマテックス株式会社 習志野工場 千葉県習志野市東習志野六丁目 18 番 1 号
事業の概要	併用していた灯油焚きボイラーと都市ガス焚きボイラーを、高効率都市ガスボイラーに更新することで、燃料の省エネおよび CO2 削減を図るものである。
排出削減量の計画	2008 年度：142 tCO2 2009 年度：894 tCO2 2010 年度：894 tCO2 2011 年度：894 tCO2 2012 年度：894 tCO2 2013 年度：894 tCO2 2014 年度：894 tCO2 2015 年度：894 tCO2 2016 年度：894 tCO2 2017 年度：752 tCO2 (事業実施期間合計：8,046tCO2)

クレジット認証期間	開始日 2009 年 2 月 2 日 終了日 2017 年 2 月 1 日
排出削減方法論	方法論 001 : ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2015 年 12 月 1 日 ～ 2017 年 2 月 1 日 (第 3 回実績報告)

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	639 tCO <sub>2</sub> (2015 年 12 月 1 日 ～ 2017 年 2 月 1 日)
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所であるニチハマテックス株式会社習志野工場においてボイラー設備が設置されていることを現地にて目視確認した。</li> <li>2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における稼働集計表等の資料により確認した。</li> <li>3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。</li> <li>4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。</li> </ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) モニタリング方法において、事業実施後の都市ガス使用量、ボイラー効率について、それぞれボイラー管理システム及び計測値により把握されており、排出削減事業計画書に基</li> </ol>

	<p>づき適切に実施されていることを確認した。</p> <p>2) 排出削減事業計画書に基づき適切に記録・集計され、使用量及び係数値の把握・管理が確実になされていることを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>算定期間は、2017年2月1日までであり、認証期間の終了日である2017年2月1日を超えていない。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
特になし。

#### 6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算 45.1kL であることを確認した。